

令和3年7月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和3年7月27日(火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時40分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	妹尾直人	
	委員	片山美香	
	委員	河内智美	
	委員	石井希典	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	荻野拓志	教育次長	奥橋健介
次長(教育総務部長兼務)	赤野政治	学校教育部長	谷岡哲郎
生涯学習部長	小坂正樹	教育企画総務課長	重河啓子
教育企画総務課企画調整担当課長	植山智恵	指導課長	田中光彦
事務局 (教育企画総務課課長補佐)	井本浩行	事務局 (教育企画総務課財務担当係長)	矢谷隆宏
5 議題及び結果			
第13号議案	令和4年度使用教科用図書の採択について		原案可決
6 教育長等の報告	[令和3年6月12日(土)～令和3年7月9日(金)]		
6/24	市長・教育長・校長会会長座談会	教育企画総務課	
6/29	教育長学校訪問(市長学校視察)	教育企画総務課	
6/30	教育長学校訪問	教育企画総務課	
6/30、7/2、7/7	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開授業)	指導課	
7/1	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開保育・授業)	幼保運営課・指導課	
7/7	教育長学校訪問	教育企画総務課	
7/8	就学・教育相談会	指導課	
7/8	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開授業)	指導課	
7/9	教育長学校訪問	教育企画総務課	
7/9	就学・教育相談会	指導課	
7/9	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開保育・授業)	幼保運営課・指導課	
7/9	就学・教育相談会	指導課	

教育長	○ ただいまから7月教育委員会定例会を開会する。 傍聴希望者はおられない。 日程第1、会期について、本日1日限りとしてよろしいか。
全委員 教育長	○ 〈承認〉 ○ 本日1日限りとする。 日程第2、6月の定例会の議事録がある。順次ご覧いただき、問題がなければご署名をお願いします。
片山委員	○ コロナが少し落ち着きを見せてきて、いろいろな学校をご訪問されていて、本来なら一つ一つお伺いしたいところであるが、何か特にお気づきになった点や、全体の学校の様子、現在困っていることなどを教えていただければと思う。
教育長	○ 桑田中学校から話をしたいと思う。我が母校であるが、改築後、初めて校門をくぐったが、あまりの変わりようにびっくりした。私がいたときは1、400人ぐらいの子どもがいたが、今は1、000人もいないということで、非常に落ち着いた雰囲気での授業ができていた。私はいつも、校長と一緒に学校を回るときにトイレや靴箱の様子を見る。トイレは、乾式のトイレで非常にきれいであった。それから、靴について、これはどこの学校も徹底していると思う。靴箱については、きちんと靴がそろっている。 それから、桑田という学区の立地条件から考えて、非常に子どもの出入りが多い。桑田学区にずっと住んでいる人というのは極めて少ない。そういうところなので、校長が、他の学校と比べて特色づくりが非常に難しいということも言っていた。これから大綱を受けて学校としての色を出していきたいが、この学区はなかなかそこが難しいという話をしていた。 それから、特別支援学級もかなり多い。知的が1クラス、自閉・情緒が5クラス、それから、岡大の医学部と県の精神医療センター、ここに1クラスずつ院内学級があり、非常に特別支援に力が入っている。 生徒指導の課題としては、不登校が多いということで、子どもがわかったふりをしているというか、素直にわからないとか言える雰囲気がないというようなことも校長は話をされていた。 コロナでなかなか地域の活動もできないので、地域との関係づくりも非常に大変だという話であった。 次に、津島小学校は、私が2年間勤めたところであるが、ここは私がいるときからそうであったが、パソコンを使った授業を3分の1ぐらいはしていた。非常に進んでいる。3年生、4年生ぐらいからどんどん使って、6年生になるとパワーポイントを使って書類を作成するとか、非常に進んだことをやっていた。 ここもコロナで地域の方が学校に来られない。毎日というぐらい地域の方が来られて、読み聞かせをしたり、個別支援をしたり、昔遊びをしたりとか、いっぱいされているけれども、なかなかそれができなくて難しいということである。 最後、芳泉小学校であるが、教育長になるまで5か月校長をさせていただいたところである。校長は、講師が不祥事を起こしたということでその影響を非常に心配をされていたが、1か月以上たったが、もしかしたらあのクラスだった子どもの中には、少し不安になっているかもしれないが、そのクラスには本校の教務主任が入るなど、非常にケアもできていて、全く問題ないという話をされていた。 働き方改革でワークライフバランスという言うことで、ワークはいいとして、ライフのことについて、仕事以外の生活のことを、不祥事もあったので、今しっかり先生たちに話をしているんだと、ここを充実させてほしいんだということを言われていた。 3校共通してであるが、6月の終わりから7月にかけて非常に暑いときであ

	<p>ったが、小学校、中学校はクーラーが入っているのが非常に効果的で、子どもたちが本当にだらっとせずにきちんとした姿勢で授業を受けている態度、これが印象的であった。これは本当によかったなと思った。</p> <p>以上。</p>
<p>7 議事の概要</p>	
<p>教育長</p> <p>全委員 教育長</p> <p>指導課課長補佐</p> <p>教育長</p> <p>妹尾委員</p> <p>片山委員</p>	<p>○ 次に、議事に入る前に、会議の公開、非公開についてお諮りをする。</p> <p>日程第4の第14号、第15号、第16号議案及び日程第5の報告第15号は、教育事務に関する議会の議案等についての市長への意見の申出に関する事項として会議規則第7条第1項第3号に該当するため、非公開としたいと思うが、委員の皆様、いかがか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 非公開とする。</p> <p>それでは、日程第4、第13号議案令和4年度使用教科用図書の採択について、指導課から願います。</p> <p>○ 本議案は、岡山市立小学校、中学校、岡山後楽館中学校及び岡山後楽館高等学校並びに小学校及び中学校の特別支援学級における令和4年度使用教科用図書を採択するものである。</p> <p>初めに、中学校で使用する教科用図書の採択をお願いする。</p> <p>委員の皆様には教科書見本を事前にお渡しさせていただき、本日まで独自に調査研究を進めてくださっている。</p> <p>教科書見本については、本日、机上に並べさせていただいているので、ご審議の際に必要なに応じて参考にしていただければと思う。また、事前にお渡ししている教科書展示会でのアンケートについても参考にしていただければと考えている。</p> <p>なお、今回は中学校社会歴史的分野において採択替えを行うか否かについて判断していただくこととなるので、よろしく願います。</p> <p>○ それでは、採択替えを行うか否かの理由について、各自で検討した結果を案として発表していただければと思う。</p> <p>○ ただいまご説明いただいた採択替えをするかどうか、する必要があるかどうかという意味での判断をさせていただいた。今回、自由社の教科書を拝見して、私自身勉強になったというか、かなり独自なものの見方があって、非常に高度な内容が書かれていたり、あるいは独自の視点があったりして、そういう意味で面白いなどは思ったが、義務教育における歴史教育という役割で、基礎的、標準的な知識が満遍なく取り扱われているかどうかということと、歴史的なものの見方、考え方のスキルを伸ばすこと、その2つが大きいのかなと考えていて、自由社のものはかなり特定の立場が色濃く出ているため、取捨選択されている事実というのがかなり独特というか、ここまで載せる必要があるのかと思うようなものがある反面、他の教科書だったら取り扱っているような事象が取り扱われてなかったりした。また、これは前年度に採択された東京書籍の教科書との比較ということになるが、当時私一推しというか、迷って帝国書院にさせてもらったが、東京書籍の作りが学習者の視点に立って非常に分かりやすく、考え方のスキルについても丁寧に記述されていて、このあたりは前回の議事録で河内委員がご指摘されているとおりになんだろうなと思った。そのため、今回は私としては採択替えの必要まではないと考えた。</p> <p>○ 私も、結論から申し上げますと、今回採択替えの必要はないという意見である。</p> <p>理由は、まず1点目は、やはりこれまでこの1年間、先生方はかなり教材研究等をなさっていると思うので、このまま積み重ねをしていただくということが子どもにとっていいのではないかと、先生方にとってもこれまでの蓄積ということが生かされていくのではないかとというのが1つ目の理由である。</p>

それから、2つ目については、先ほど妹尾委員がおっしゃった、学習者の視点という意味で東京書籍のほうは冒頭、子どもが全部読むかどうかというのはなかなか難しい部分もあるかと思うが、この教科書のつくり方とか使い方、学び方というところが非常に充実していて、全ページにわたってその使い方に沿った自習が進められやすい形になっていると思った。特に章ごとのまとめについては、一方的に情報を伝えるというよりも、子どもたちが自分なりに書き込んでみたり、図に表してみたり、それから他の人と協働して考えて話し合ってみたりとか、そういった様々な工夫が凝らされていて、若手の先生でもこの教科書に沿って指導していただければ子どもたちも自習もしやすい形になるかなと思った。

自由社の場合は、章の単元が見開き2ページで構成されていて、一見してその全体像を捉えるという意味では非常に分かりやすい構成だと思ったが、やはりこれまでの継続性、これからに向けてという点と、岡山市の子どもたちが自分なりに歴史を身近に感じて学ぶ意義を理解しながら学習に取り組むという課題を考えると、自習に向くという観点での教科書のつくり方が、やはりいいのではないかということで東京書籍を継続して使用していくことに意見を述べさせていただく。

河内委員

- まず、自由社の教科書について、先ほど妹尾委員もおっしゃったように、独自の視点がしっかりと出ているという特徴を感じた。それから、先ほど片山委員もおっしゃったが、見開きで分かりやすく、小単元の下に課題が明示されて、その課題を追究して学習し、最後にその見開きのチャレンジでまとめをするといった一貫した学び方ができるように構成されている。そこはいいなと思った。

それから、また改めて東京書籍の教科書を読み返した。歴史を学ぶのは未来を考えるために必要であるという考えから、これまで人々がどのようにして課題を克服しようとしたかを学ぶことができるように探究課題を示したり、見方・考え方のコーナーを設けたり、みんなでチャレンジのコーナーで深めたりというふうに様々な工夫をして構成されていると感じた。

したがって、採択替えの必要はないというふうに感じた。

石井委員

- 検討した結果、採択替えを行わないことを提案する。
理由としては、前回採択された東京書籍の教科書が最も、新しい学習指導要領の考えを捉えて、歴史を多角的・多面的に捉えようとして、捉えた上でそれを知識にとどめないで、先ほど河内委員もおっしゃったが、それを自分自身の人生に生かしていく、あるいは自分と社会との関わりに生かしていく、あるいは社会全体の在り方について考えるところまで考えて、その先の行動にまでつながっていくような導きがあるのではないかと考えている。したがって、現時点においても東京書籍の教科書がふさわしいということの判断には変わりがなかった。

教育長

- 4人の委員方がおっしゃってくださったが、基本的には採択替えはしないということで一致している。主な理由としては、東京書籍がこれから、始まったばかりであるが、これに向かって先生たちも教材研究をしているということ。それから、学習者の立場に立った構成であるということ。そういったことがもうきちんと示されていて、これは新しい学習指導要領にも沿っていることであるということ。それから、自由社については、若干偏りが見られるということ。構成は分かりやすいところもあるが、歴史観とか、それについて若干偏りが見られるということで採択しないほうがいいというようなご意見が多かったのではないかと思う。それぞれの教科書会社で工夫をしっかりとっておられるけれども、岡山市についてはそういうことで採択替えをしないということやっていきたいと思う。

それでは、事務局から続けて説明をお願いします。

指導課課長補佐

- 小学校で使用する教科用図書についてお願いします。

<p>教育長 全委員 教育長 全委員 教育長 指導課課長補佐</p>	<p>現在使用している教科用図書は、お手持ちの資料1ページから5ページに案としてお示ししていて、これら全てを採択していただければと考えている。どうぞよろしく願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 何かご意見はあるか。 ○ 〈なし〉 ○ では、案のとおり採択をするということによろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ 原案のとおり採択する。 ○ 続いて、歴史的分野以外の中学校及び岡山後楽館中学校で使用する教科用図書について願います。 <p>中高一貫校である岡山後楽館中学校については、他の中学校とは別に採択を行うことができるが、岡山市においては他の中学校と同じ教科用図書の採択を行っている。現在使用している教科用図書は、お手持ちの資料6ページから9ページに案として示して、これら全てを採択いただければと考えている。どうぞよろしく願います。</p>
<p>教育長 全委員 教育長 全委員 教育長 指導課課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 何かご意見がないか。 ○ 〈なし〉 ○ では、案のとおり採択するということによろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ では、原案のとおり採択することとする。 ○ 特別支援学級で使用する教科用図書について願います。 <p>特別支援学級で使用する教科用図書については、より児童・生徒の実態に合った教科用図書を使用するというので、各学校で選定委員会を組織して、採択いただきたい教科用図書を選定している。事務局で必要な指導助言を加えた上で、令和4年度使用特別支援学級教科用図書選定資料を取りまとめている。</p> <p>お手持ちの資料の10ページから13ページにある絵本などの一般図書118冊と文部科学省の著作本16冊の計134冊全ての採択をお願いしたいと考えている。</p> <p>以上である。</p>
<p>教育長 河内委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ こちらも何かご意見があったら願います。 ○ 子ども一人一人の実態に合った教科書を選定していただいているということで、それが一番大切であろうと思うので、子どもに合ったものを使えるようになったらいいなと思う。
<p>教育長 全委員 教育長 指導課課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ では、案のとおり採択するということによろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ 原案のとおり採択することとする。 <p>続けて、今度は岡山後楽館高校について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 岡山後楽館高等学校で使用する教科用図書について採択を願います。 <p>お手持ちの資料14ページの岡山市立岡山後楽館高等学校の選定委員会において選定された教科用図書の一覧の案と、別に準備している選定理由書を基に採択をお願いしたいと考えている。</p> <p>なお、選定理由書に第1部とあるのが、平成30年告示の学習指導要領に基づいて編集された教科用図書になる。第2部とあるのが、平成21年告示の学習指導要領に基づいて編集された教科用図書ということである。</p> <p>それでは、どうぞよろしく願います。</p>
<p>教育長 全委員 教育長 全委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 何かご意見はあるか。 ○ 〈なし〉 ○ それでは、案のとおり採択するということによろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ 原案のとおり採択することとする。 <p>以上で本日予定していた教科用図書採択についての審議は終了するが、事務</p>

指導課課長補佐	<p>局から連絡があればお願いします。</p> <p>○ 今後、採択図書をもとめて県教育委員会へ報告する。</p> <p>なお、採択に係る資料、採択教科書などについては、教科書の採択に関する信頼を確保する観点から、法で定められた採択の時期である8月31日までは公表を控えていただいて、それ以降にホームページでの公表をしたいと考えている。</p>
教育長	<p>○ それでは、この第13号議案を終了して、次からは非公開の審議に移るので、関係者以外の方はご退席をお願いしたいと思う。</p>

傍聴の状況		
報 一	道 般	0名 0名

令和3年7月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	令和3年7月29日（火）		
2 開会及び閉会	開会	14時40分	
	閉会	14時49分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	妹尾直人	
	委員	片山美香	
	委員	河内智美	
	委員	石井希典	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	荻野拓志	教育次長	奥橋健介
次長（教育総務部長兼務）	赤野政治	学校教育部長	谷岡哲郎
生涯学習部長	小坂正樹	教育企画総務課長	重河啓子
教育企画総務課企画調整担当課長	植山智恵	就学課長	畑克己
指導課長	田中光彦	文化財課長	草原孝典
岡山っ子育成局保育・幼児教育部 幼保運営課長	森本隆		
5 議題及び結果			
第14号議案	市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について （不動産の買入れについて）		原案可決
第15号議案	市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について （岡山市立学校条例の一部を改正する条例の制定について）		原案可決
第16号議案	市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について （損害賠償の額を定めることについて）		原案可決
報告第15号	専決処理の報告について （債務不履行に係る損害賠償の額を定めることへの同意について）		承認